

今年度、下記の内容でルール変更が行われます。

1. 従来のルールから変更されない内容

- ・試合時間は3分2ピリオドとする。
カデット・ベテランは2分2ピリオドとする。
- ・勝利の種別については変更なしとする。
- ・カデット・ジュニアの階級は変更しない。
- ・同点の場合の勝利選手の決定方法（ビック・コーション・ラスト）
- ・場外に一足でた場合の1ポイント。
- ・コレクトホールドの1ポイント
- ・技の失敗のリスク（ノーポイントでスタンド）

2. 両スタイルにおける変更点の内容

- ・3ポイント2回・5ポイント1回でのテクニカルフォールの成立は廃止。
- ・デンジャーポジション5秒間の1ポイントの廃止。
- ・攻撃・防御からのテイクダウン。（2ポイント）
- ・瞬間フォールに対するポイントが2点から1点に変更。
- ・パーテレポジションでの反則に対してはパーテレポジションから開始。
- ・パーテレポジションのフライングは『○+1』に変更。

3. フリースタイルの変更点について

- ・階級の変更について

（男子）

五輪大会

57kg・65kg・74kg・86kg・97kg・125kg

五輪大会以外の大会

57kg・61kg・65kg・70kg・74kg・86kg・97kg・125kg

（女子）

五輪大会

48kg・53kg・58kg・63kg・69kg・75kg

五輪大会以外の大会

48kg・53kg・55kg・58kg・60kg・63kg・69kg・75kg

- ・テクニカルポイントのついて
1点・2点・4点とする。
- ・テクニカルフォールについて
10点差とする。(カウンター・アタックも可能とする。
- ・スタンドからダイレクトでデンジャーポジションにした技は4点。
(投げ技・タックル等)
- ・投げ技はグラウンドからでも有効とする。
- ・5ポイント技の適用は廃止とする。
- ・消極的な選手の対する処置について
 - 1回目 試合を止め、口頭注意を行う。
 - 2回目 試合を止め、30秒間のペナルティ・ピリオドの指示
30秒間でどちらの選手もポイントを撮れなかった場合
『○+1』とする。
 更に消極性が見られた場合
ペナルティ・ピリオドを開始する。
2:30 或いは 5:30 経過後はペナルティ・ピリオドは実施しない。

* 試合は0-0の展開の場合は、2:00経過後に必ず実施しなければならない

4. グレコローマンスタイルの変更点について

- ・階級の変更について
(男子)
五輪大会
59kg・66kg・75kg・85kg・98kg・130kg
五輪大会以外の大会
59kg・66kg・71kg・75kg・80kg・85kg・98kg・130kg
- ・テクニカルポイントのついて
1点・2点・4点・5点とする。
- ・テクニカルフォールについて
8点差とする。(カウンター・アタックも可能とする。

- ・ スタンドからダイレクトでデンジャーポジションにした技は 4 点。
(投げ技・タックル等)
- ・ 大技で投げたからデンジャーポジションにした技は 5 点。
- ・ 投げ技はグラウンドからでも有効とする。
- ・ 消極的な選手の対する処置について
 - 1 回目 試合を止めないで、注意を行う。
 - 2 回目 試合を止め、コーションを与えられ
スタンドかグラウンドの選択権を得る。
 - 3 回目 試合を止め、『○+1』を与えられ
スタンドかグラウンドの選択権を得る。
 - 4 回目 試合を止め、『○+1』を与える。
試合は終了となる。
- ・ ガッツレンチの従来の 2-2 は 2-1 に変更する。
(瞬間ファールは相手に 1 点を与える。)
- ・ パーテレポジションは片膝・両膝・スタンドスタイル全て可能とする。
- ・ クロスボディ (オーダード・ホールド) は禁止する。
- ・ グラウンドでの場外逃避は『○+1』となり、パーテレポジションで再開。